

平成 28 年度 第 1 回運営推進会議 議事録

<日時>

平成 28 年 10 月 29 日（土） 10：00～11：15

<場所>

リハビリ・デイサービスセンター「しん」

<参加者>

計 7 名

【内訳】利用者・家族	…	2
地域住民（託麻東校区社会福祉協議会会長・託麻東 3 町内民生委員）	…	2
地域包括支援センター：ささえりあ託麻	…	1
事業所：「しん」	…	2

<議事進行（議長）>

事業所より 1 名選出

※第 1 回会議でもあり、速やかに会議内容を展開するため、全員了承のもとで選出した。

議事進行にあたり、議長より、「議事は議事次第に基づいて進行するが、議事進行の過程で得られた法人あるいは事業所の情報情報については、『守秘義務』に該当するものとして徹底遵守して欲しい」ということが示され、全員了承した。

1. 自己紹介

議長より、各参加者の氏名が読み上げられ、その後、それぞれ自己紹介を行った。

2. 委員長（議長）および副委員長の選出

自薦を募った結果、該当者なしだったので、他薦として、以下の理由のもとに委員長および副委員長を選出した。ただし、今回の議長については、前述したように、事業所の参加者から選出した。

【選出理由】

年に 2 回の開催ということで、全体的に会議回数は多くないことから、地域住民代表者が事業所の事情を理解するまでは、暫定的に委員長を地域包括支援センターの参加者代表から、副委員長を利用者代表から選出した。

3. 運営推進会議の目的および規定について

①開催趣旨 ②運営推進会議規定 ①および②において、事業所の代表者から説明があった。

4. 法人紹介およびリハビリ・デイサービスセンター「しん」について

①方針と目的 ②利用状況など ③活動内容

①から③について、事業所の参加者より説明があった。その中で事業所の代表者が補足強調したこと、また、事業所以外の参加者より確認があった内容については、以下のとおりである。

【法人およびコンディショニングセンターの活動について（事業所代表者の補足事項）】

(1)法人連携 … (福)社会就労センターライン工房との連携

代表社員がその身体障がい者デイサービスセンターの個別機能訓練を担当していたこと、あるいは熊本市障がい者相談支援センター青空に関わっていたことから、同法人との繋がりが深い。その流れから、ライン工房のパン販売を「しん」で協力している。

(2)コンディショニングセンターの活動 … ジュニア・スポーツ選手のコンディショニング

医療保険の管轄外（医師の指示が関わらない部分）にあるスポーツ選手は、「**スポーツ傷害発生の予防あるいは対応**」について専門家から指導される可能性が少ない。そのため、該当選手やチームに運動指導を展開している。

【「しん」の活動内容について（参加者からの確認事項）】

(1)緊急時対応

通常、利用者はそれぞれ「かかりつけ医」を有しているが、緊急時はその「かかりつけ医」がすぐに対応できるかは分からない。よって、**緊急時はすぐに救急要請を行って、救急病院へ搬送**している。

(2)送迎範囲について

介護サービス情報公表では、主に「熊本市・益城町・菊陽町・大津町」としているが、実際はそれらの全域を対応することは困難であるので、実質的に対応できる範囲になる。

※地域包括支援センター代表者より、

関連することとして、ケア・マネージャーの立場からすると、**利用者が「ロコミ」で事業所の選択ができる**ことが望ましい。

また、「議事5」に該当する質疑応答については、「議事5」で示す。

5. 運営推進会議による評価・要望・助言など

まず、利用者の代表者から、「しん」を利用していることに関する印象（感想）を呈示された。その内容については、以下のとおりである。

- 「職員が明るく、とても楽しい。自宅に戻ると、『今日も充実した』と本当に思える」
- 「リハビリの積み重ねにより、身体の回復を自覚できて、先日は自動車の運転免許の更新も行えた」
- 「よって、今のまま、サービスを展開して頂いていいと思う」

次に、質疑応答に入り、その内容については、以下に示すとおりである。

【質疑応答】

Q1. 託麻東校区社会福祉協議会会長より

「外部からの評価については、どのように考えているか？」

A1. 事業所より

「詳細な規定等はないが、この会議の中で、吟味された内容が最終的に全員了承であれば、それを評価と置き換えてもいいと考えるがいかがか？それは今後も同様である」

→ 全員了承した。

Q2. 託麻東 3 町内民生委員代表者より

「事業所のすぐ近くに、〇〇という病気でリハビリを必要とする△△才の方がいるが、地理的に事業所に近いので、受け入れをすることは可能か？」

※通所だけの委員就任は、初めてである。

A2. 事業所より

「疾患と年齢から、介護保険サービスの適応としては難しいため、障害者サービスに該当すると思われるので、そのサービスを吟味されることになると思う」

A2. 地域包括支援センター代表者より

「おそらく、療育手帳を有していれば、その手帳に基づいて、障害者サービスの適応になる」

→ 全員了承した。

Q3. 託麻東校区社会福祉協議会会長より

「自動車運転では、自動車の改造などしているのか？」

A4. 利用者代表

「改造はしていない」

→ 全員了承した。

6. その他

特になし。

7. 次回の開催日について

開催日時：平成 29 年 2 月 18 日（土） 10：00～11：00

開催場所：リハビリ・デイサービスセンター「しん」

以上

平成 28 年度 第 2 回運営推進会議 議事録

<日時>

平成 29 年 2 月 18 日（土） 10：00～11：00

<場所>

リハビリ・デイサービスセンター「しん」

<参加者>

計 7 名

【内訳】利用者・家族 … 2

地域住民（託麻東校区社会福祉協議会会長・託麻東 3 町内民生委員）… 2

地域包括支援センター：ささえりあ託麻 … 1

事業所：「しん」 … 2

<今回は運営推進委員以外の「しん」スタッフ 3 名が見学をした。>

<議事進行（議長）>

事業所より 1 名選出

※今回も速やかに会議内容を展開するため、全員了承のもとで選出した。

議事進行にあたり、議長より、「議事は議事次第に基づいて進行するが、議事進行の過程で得られた法人あるいは事業所の情報については、『守秘義務』に該当するものとして徹底遵守して欲しい」ということが示され、全員了承した。… 前回同様

1. 自己紹介

議長より、各参加者の氏名が読み上げられた。また、見学をした「しん」のスタッフそれぞれが自己紹介を行った。

2. 委員長（議長）および副委員長の選出

自薦を募った結果、該当者なしだったので、他薦として、以下の理由のもとに委員長および副委員長を選出した。ただし、今回の議長については、前述したように、事業所の参加者から選出した。… 前回同様

【選出理由】

年に 2 回の開催ということで、全体的に会議回数は多くないことから、地域住民代表者が事業所の事情を理解するまでは、暫定的に委員長を地域包括支援センターの参加者代表から、副委員長を利用者代表から選出するようにした。 … 次回から実施

3. 前回の議事について

前回の議事内容について、事業所の代表者から確認のための説明があった。 … 議事録添付

4. 事業の近況報告、利用者様とそこご家族からのご意見について

(運営推進会議による評価・要望・助言など)

事業所の代表者から、以下のような報告があった。

①利用状況

- 平成 29 年 1 月現在における要介護度別及び曜日別利用者数
- 平成 29 年 2 月から 4 月にかけての新規利用の予定者数

②最近の活動内容

月行事・年間行事・ボランティア受け入れ・他機関との連携

この中で、②の年間行事における避難訓練の紹介では、消防署と連携をしながら実施している実際の「避難訓練計画書」を回覧しながら、その流れを確認した。

次に、利用者様の代表者から、自らの利用をもとにした「しん」の状況について、以下のような意見（利用における感想）が呈示された。

- ◎毎回、「しん」に来た際には、利用者間あるいは利用者とスタッフ間で、気持ちよく挨拶が交わされ、それがとても楽しみで気持ちがいい。
- ◎スタッフの連携が行き届いていて、利用者への気配りも立派である。
- ◎自らは「しん」を利用する前から代表社員を知っており、利用前に病院に入院した際にわざわざ顔を出してくれたことが今でも印象に残っており、その気遣いから、「しん」の利用を決めた。
- ◎同じ利用者で車椅子の方が懸命に立つ練習をして、歩けるようになった姿を見て、とても感動して涙を流した。本当に、利用者一人一人に対して、その人独自の機能訓練が生きている。

その後、質疑応答に入り、その内容については、以下に示すとおりである。

【質疑応答】

Q1. 託麻東 3 町内民生委員代表者より

「緊急時の対応等について、もう一度、説明を頂きたい」

A1. 事業所より

「通常、利用者はそれぞれ『かかりつけ医』を有しているが、緊急時はその「かかりつけ医」がすぐに対応できるかは分からない。よって、**緊急時はすぐに救急要請を行って、救急病院へ搬送している**」

※前回の内容を再呈示

Q2. 託麻東校区社会福祉協議会会長より <Q1 の関連質問>

「AED は備え付けてあるか？」

A2. 事業所の代表より

「常時、備え付けており、2ヶ月に1回開催する会議で、その管理についての確認も徹底している」

→ Q1・Q2 合わせて、全員了承した。

Q3. 地域包括支援センター代表者より

「避難訓練については、地震後の教訓も踏まえ、ある事業所では地域全体を含めて実施したところがあると聞いたが、そのような規定（努力義務）があるか？入所系が該当しているのか？」

A3. 事業所の代表より

「おそらく、入所系が該当する話だと思うが、今後、そのような取り組みも必要になってくることも考えておきたい」

→ 全員了承した。

Q4. 託麻東3町内民生委員代表者より

「送迎時間は長い方でどのくらいか？」

A4. 事業所の代表より

「どうしても、距離的な面から1時間ほどになってしまうことがある」

→ 全員了承した。

5. その他

「しん」の実際の取り組みの中で、「個別機能訓練の実施状況（DVD上映）」及び「モンパル活動（スタッフによるデモンストレーション実施）」について紹介した。

6. 次回の開催日について

開催日時：平成29年9月16日（土） 10：00～11：00

開催場所：リハビリ・デイサービスセンター「しん」

以上

平成 29 年度 第 1 回運営推進会議 議事録

<会議累積回数：3回>

<日時>

平成 29 年 9 月 16 日（土） 10：00～11：00

<場所>

リハビリ・デイサービスセンター「しん」

<参加者>

計 7 名

【内訳】利用者・家族 … 2

地域住民（託麻東校区社会福祉協議会会長・託麻東 3 町内民生委員）… 2

地域包括支援センター：ささえりあ託麻 … 1

事業所：「しん」 … 2

<今回も、運営推進委員以外の「しん」スタッフ 3 名が見学をした。>

<議事進行（議長）>

事業所より 1 名選出

※今回も速やかに会議内容を展開するため、全員了承のもとで選出した。

議事進行にあたり、議長より、「議事は議事次第に基づいて進行するが、議事進行の過程で得られた法人あるいは事業所の情報については、『守秘義務』に該当するものとして徹底遵守して欲しい」ということが示され、全員了承した。… 前回同様

自己紹介

今回より、地域包括支援センターからの参加者が変更になり、その参加者からの自己紹介があった。また、見学をした「しん」のスタッフそれぞれが自己紹介を行った。

委員長（議長）および副委員長の選出

自薦を募った結果、該当者なしだったので、他薦として、以下の理由のもとに委員長および副委員長を選出した。ただし、今回の議長については、前述したように、事業所の参加者から選出した。… 前回同様

【選出理由】

年に 2 回の開催ということで、全体的に会議回数は多くないことから、地域住民代表者が事業所の事情を理解するまでは、暫定的に委員長を地域包括支援センターの参加者代表から、副委員長を利用者代表から選出するようにした。 … 次回から実施

1. 前回の会議議事について

前回の議事内容について、事業所の代表者から確認のための説明があった。特に、第2回会議の質疑応答で重要視された「避難訓練」と「救急搬送」、また、「送迎」について、再度、全員で確認を行った。

2. 事業の近況報告、利用者様とそこご家族からのご意見について

(運営推進会議による評価・要望・助言など)

事業所の代表者から、以下のような報告があった。事業所としては、ボランティアの受け入れを希望していることが強調された。

①利用状況

- 平成29年1月現在と8月現在における要介護度別の登録者数及び曜日別利用者数

②最近の活動内容

月行事・年間行事・ボランティア受け入れ・他機関との連携

また、地域包括支援センターの参加者より、東3（ささえりあ託麻）圏域の16通所介護事業所ネットワークの取り組み（特に、要介護認定前及び健康に関する取り組み）についての説明があった。

それを受けて、「しん」の代表者より、「そのネットワーク事業に対し、『しん』としても積極的に参画し、力を入れている」旨の説明があった。

【質疑応答】

Q1. 託麻東3町内民生委員代表者より

「避難訓練で、避難した後（避難誘導後）の場所はどうなっているのか？また、どこまでが責任の範囲なのか？」

A1. 事業所より

「通常、（場所を示しながら）避難時の通路と場所を設定している。避難誘導後は、基本的に介護保険サービスの原則に則り、自宅までお送りするまでに考えている」

Q2. 託麻東3町内民生委員代表者より

「説明があった『東3（ささえりあ託麻）圏域の16通所介護事業所ネットワークの取り組み』から、自らの介護保険サービスについての認識を変えないといけないと感じたがどうか？」

A2. 事業所より

「要介護度を改善するための取り組みは従来の考え方で、特に間違っていないと考える。この取り組みは、従来のその考え方に加えて、介護保険サービスを利用する前に、健康を高めようとするものと考えて頂ければ幸いである」

Q3. 託麻東 3 町内民生委員代表者／託麻東校区社会福祉協議会会長より

「救急搬送についての確認をしたい」

A3. 事業所より

「基本的に、救急搬送は救急隊に対して、救急病院への搬送を依頼する。過去の例からは、看護師が救急車に同乗し、救急病院における方向性が出て、家族に繋がるまで付き添っている。搬送回数については、この約 10 年間で 4 回である」

ボランティアについての討議

◎託麻東校区社会福祉協議会会長／託麻東 3 町内民生委員代表者より

「ボランティアは市・校区・町内それぞれで登録されているが、知識が必要であったりすると、その配置はなかなか難しい」

「市のボランティアの話は、私（託麻東校区社会福祉協議会会長）の所に来る」

◎地域包括支援センター代表者より

「それぞれの窓口の連絡先が分かっていると、効率的な配置ができるかも知れない」



◎事業所より

「介護の知識をいうよりも、長年の人生経験から得られた特技や趣味等を活かして頂ければありがたい。例えば、現在、囲碁の対局に来て頂いているような例である。ぜひ、皆様のご協力をお願いしたいと思う」

③利用者様とそのご家族からのご意見

利用者様とそのご家族の代表者からは、今回も自らの利用をもとにした「しん」の状況について、以下のような意見（利用における感想）が呈示された。

◎人生 100 歳まで、これからも「しん」を利用し、元気に生きたいと思う。

◎毎回、「しん」に来た際には、利用者間あるいは利用者とスタッフ間で、気持ちよく挨拶が交わされ、それがとても楽しみで気持ちがいい。毎回、喜びと感謝の気持ちでいっぱいである。

◎スタッフの連携が行き届いていて、利用者への気配りも立派である。

その後、事業所の代表者から、「温かいお言葉を噛み締めながら、今後も皆様のために努力するが、敢えて改善点などがあつたらご指摘頂きたい」という話があった。



全員、「現状のままで、今後の運営も続けて行く」ことでした承された。

3. その他

託麻東校区社会福祉協議会会長より、以下のような案内があった。

(1)9/6(水)に、社会福祉協議会からの発信として、「災害時の一時的避難」に関する施設との連携をテーマに集まった。

(2)9/27(水)13:00に、熊本赤十字病院で「献血」が行われるので、良かったら協力をお願いしたい。地域包括支援センター参加者より、以下のような質問があり、それを受けて事業所代表から返答した。

Q. 『しん』におけるイベント開催の可能性はどうか？

A. 「必要性は大いに感じるが、単独事業所ではマンパワーや時間配分等でなかなか実施が難しい。しかし、地域への貢献は必要なので、できれば他事業所に参画するような形を考えている」

次回の開催日について

開催日時：平成30年3月17日(土) 10:00~11:00

開催場所：リハビリ・デイサービスセンター「しん」

以上

平成 29 年度 第 2 回運営推進会議 議事録

<会議累積回数：4 回>

<日時>

平成 30 年 3 月 17 日（土） 10：00～11：15

<場所>

リハビリ・デイサービスセンター「しん」

<参加者>

計 7 名

【内訳】利用者・家族 … 2

地域住民（託麻東校区社会福祉協議会会長・託麻東 3 町内民生委員）… 2

地域包括支援センター：ささえりあ託麻 … 1

事業所：「しん」 … 2

<今回は運営推進委員以外の「しん」スタッフ 2 名が参加した。>

<議事進行（議長）>

事業所より 1 名選出

※今回も速やかに会議内容を展開するため、全員了承のもとで選出した。

議事進行にあたり、議長より、「議事は議事次第に基づいて進行するが、議事進行の過程で得られた法人あるいは事業所の情報については、『守秘義務』に該当するものとして徹底遵守して欲しい」ということが示され、全員了承した。… 前回同様

自己紹介

議長より、各参加者の氏名が読み上げられた。今回は、ささえりあ託麻よりセンター長代理の参加であった。また、参加した「しん」のスタッフそれぞれが自己紹介を行った。

委員長（議長）および副委員長の選出

自薦を募った結果、該当者なしだったので、他薦として、以下の理由のもとに委員長および副委員長を選出した。ただし、今回の議長については、前述したように、事業所の参加者から選出した。… 前回同様

【選出理由】

年に 2 回の開催ということで、全体的に会議回数は多くないことから、地域住民代表者が事業所の事情を理解するまでは、暫定的に委員長を地域包括支援センターの参加者代表から、副委員長を利用者代表から選出するようにした。 … 次回から実施

1. 前回の議事について

2. 事業の近況報告、利用者様とそこご家族からのご意見について

(運営推進会議による評価・要望・助言など)

事業所の代表者から、以下のような報告があった。

①利用状況

- 平成 30 年 2 月現在における要介護度別及び曜日別利用者数

【質疑応答】

Q1. 託麻東校区社会福祉協議会会長より

「利用者の年齢と介護度、それぞれの平均、1日あたりの定員数を教えて欲しい」

A1. 事業所の代表より

「利用者の平均年齢は、およそ 70 歳で平均介護度は要介護 1 から 2 である。また、1日あたりの定員は 18 名である」

②最近の活動内容

月行事・年間行事・ボランティア受け入れ・他機関との連携・東 3 圏域地域ネットワーク事業

この中で、東 3 圏域地域ネットワーク事業の活動内容として、事業所外で行われている地域活動にも積極的に参加している状況が説明された。また、ささえりあ託麻のセンター長代理より 3 月 25 日（日）に開催予定である研修会の案内があった。

③利用者とその家族からのご意見

利用者の代表者から、自らの利用をもとにした「しん」の状況について、以下のような意見（利用における感想）が呈示された。

◎毎回、「しん」に来た際には、利用者間あるいは利用者とスタッフ間で、気持ちよく挨拶が交わされ、それがとても楽しみで気持ちがいい。

◎スタッフの連携が行き届いていて、利用者への気配りも立派である。

◎自身よりも、介護度の高い方がリハビリに取り組む姿にとっても感動する。本当に、利用者 1 人 1 人に対して、その人独自の機能訓練が生きている。

④当法人（当事業所）の積極的な取り組みについて … 現在進行中・新規

○一般事業主行動計画 ○おもてなし規格認証 ○ヘルスター健康宣言 ○介護保険外利用開始（4 月から）

法人代表より、上記の活動内容とその取り組みに対する説明があった。その中で、ささえりあ託麻のセンター長代理より、介護保険外利用に関しては、「要介護認定を外れた人達の受け皿が非常に少ないので助かる」との意見が挙げられた。

3. その他

平成 30 年 3 月 31 日をもって、平成 28 年度の運営推進委員の任期が満了となるが、それぞれの運営推進委員全員より、再任の了承を頂いたので、法人代表より、運営推進会議規定第 5 条に基づいて、平成 30 年 4 月 1 日から平成 32 年 3 月 31 日までの「運営推進委員の委嘱状」を発行した。

4. 次回の開催日について

開催日時：平成 30 年 9 月 15 日（土） 10：00～11：00

開催場所：リハビリ・デイサービスセンター「しん」

以上

平成 30 年度 第 1 回運営推進会議 議事録

<会議累積回数：5 回>

<日時>

平成 30 年 9 月 15 日（土） 10：00～11：00

<場所>

リハビリ・デイサービスセンター「しん」

<参加者>

計 7 名

【内訳】利用者・家族 … 2

地域住民（託麻東校区社会福祉協議会会長・託麻東 3 町内民生委員）… 1

地域包括支援センター：ささえりあ託麻 … 1

事業所：「しん」 … 2

<今回、運営推進委員以外の「しん」スタッフ 1 名も参加した。>

<議事進行（議長）>

事業所より 1 名選出

※今回も速やかに会議内容を展開するため、全員了承のもとで選出した。

議事進行にあたり、議長より、「議事は議事次第に基づいて進行するが、議事進行の過程で得られた法人あるいは事業所の情報については、『守秘義務』に該当するものとして徹底遵守して欲しい」ということが示され、全員了承した。… 前回同様

自己紹介

議長より、各参加者の氏名が読み上げられた。託麻東 3 町内民生委員は、所用のため参加されず、また、ささえりあ託麻はセンター長代理の参加であった。同時に、下記のように資料の訂正があった。

※2. 事業の近況報告、利用者様とそのご家族からのご意見

②最近の活動内容

<東 3 圏域地域ネットワーク会議>

H28.5 月～（毎週第 4 金曜日 10：30～12：30） ⇒ （毎月第 4 金曜日 10：30～12：30）に変更した。

1. 前回の議事について

前回の会議議事録を振り返り、内容の確認が行われた。

2. 事業の近況報告、利用者様とそのご家族からのご意見について

(運営推進会議による評価・要望・助言など)

事業所の代表者から、以下のような報告があった。

①利用状況

●平成30年8月現在における要介護度別及び曜日別利用者数と平均年齢

【意見及び質疑応答】

Q1. 託麻東校区社会福祉協議会会長より

「年齢の若い方が多いですね。その中で、介護度5の方の食事はどうなっていますか」

A1. 事業所の代表より

「一番若い方は53歳です。また、介護度5の方も配食を食べられており、全身状態はかなり向上しています」

②最近の活動内容

○月行事 ○年間行事 ○ボランティア受け入れ ○他機関との連携 ○東3圏域地域ネットワーク事業

この中で、囲碁対戦ボランティアとして3年間来所していた方が、対象利用者の入院により、H30年8月で終了となったが、ボランティアの継続意思により、地域につなげていることが説明された。また、東3圏域地域ネットワーク事業の活動内容として、事業所外で行われている地域活動にも引き続き積極的に参加している状況が説明された。

【意見及び質疑応答】

Q2. ささえりあ託麻センター長代理より

「囲碁対戦ボランティアの方を地域につなげているとはどういうことですか？」

A2. 事業所の代表より

「介護保険サポーター・ポイント制度の対象者でもあり、何よりご本人がこれからも他事業所であっても、囲碁対戦ボランティアを続けたい意思が確認できたので、東3圏域地域ネットワークのボランティアチームにつなげたということです」

③当法人（当事業所）の積極的な取り組みについて … 現在進行中

○一般事業主行動計画 ○おもてなし規格認証 ○ヘルスター健康宣言 ○介護保険外利用開始（4月から）
法人代表より、上記の活動内容とその取り組みに対する説明があった。ヘルスター健康宣言につい

ては、掲示している資料を再度確認して頂いた。また、4月より実施している介護保険外自費サービス利用の内容と、それがあくまでも『ケアプランが基本にあつてのサービス』という補足説明がされた。

【意見及び質疑応答】

Q3. 託麻東校区社会福祉協議会会長より

「他の事業所では、ヘルスター健康宣言の取り組みをしていますか」

A3. ささえりあ託麻センター長代理

「話を聞いたことはありません」

④利用者とその家族からのご意見

利用者の代表者から、自らの利用をもとに、以下のような意見（利用における感想）が呈示された。

- ◎運営推進会議へ参加するみなさんに会えてうれしい。
- ◎毎回、「しん」に来てみんなの笑顔が見られることがうれしいし、お休みをされると寂しい。
- ◎法人代表を中心としてスタッフの呼吸が合っている。
- ◎朝、自宅を出るときは「体調の面から出席をどうしようかと思う」が、「しん」の玄関に入ると元気になる。また、体の悩みの相談に乗ってもらえてほっとする。
- ◎「しん」での口腔体操の効果を実感しており、自分自身も地域の文化祭などで『8020運動』を推進していた。現在83歳であるが、27本の歯がある。今後も自分の歯で、食事をしていきたい。

3. その他

託麻東校区社会福祉協議会会長より、9月25日（火）に行われる『託麻東校区の敬老会』の案内があった。また、その他に託麻公民館などで定期的なサロンが行われ、『100歳体操』をしているが、男性の参加者が少ないため、「今後は、男性の参加者をいかに誘うか？」が課題だとの意見が挙げられた。ささえりあ託麻センター長代理より、自立支援を支えるための研修会の参加に対する今後の協力依頼と、「利用者の声が聞けて良かった」との意見が挙げられた。

4. 次回の開催日について

開催日時：平成31年3月16日（土） 10:00～11:00

開催場所：リハビリ・デイサービスセンター「しん」

以上

平成 30 年度 第 2 回運営推進会議 議事録

<会議累積回数：6 回>

<日時>

平成 31 年 3 月 16 日（土） 10：00～11：00

<場所>

リハビリ・デイサービスセンター「しん」

<参加者>

<欠席者> 1 名

計 8 名

【内訳】利用者・家族 … 2

地域住民（託麻東校区社会福祉協議会会長・託麻東 3 町内民生委員）… 1

地域包括支援センター：ささえりあ託麻 … 1

事業所：「しん」 … 2

<今回、運営推進委員以外及びオブザーバーの「しん」スタッフ 2 名も参加した。>

<議事進行（議長）>

事業所より 1 名選出

※今回も速やかに会議内容を展開するため、全員了承のもとで選出した。

議事進行にあたり、議長より、「議事は議事次第に基づいて進行するが、議事進行の過程で得られた法人あるいは事業所の情報については、『守秘義務』に該当するものとして徹底遵守して欲しい」ということが示され、全員了承した。… 前回同様

自己紹介

議長より、各参加者の氏名が読み上げられた。託麻東 3 町内民生委員は、所用のため参加されなかった。同時に、下記のように資料の訂正があった。

②最近の活動内容

<東 3 圏域地域ネットワーク会議>

H28.5 月～（毎週第 4 金曜日 10：30～12：30） ⇒ （毎月第 4 金曜日 10：30～12：30）

1. 前回の議事について

前回の会議議事録（特に質疑応答）を振り返り、内容の確認が行われた。

2. 事業の近況報告、利用者様とそこご家族からのご意見について

(運営推進会議による評価・要望・助言など)

事業所の代表者から、以下のような報告があった。

①利用状況

- 平成31年2月現在の「要介護度別及び曜日別利用者数」と「平均年齢・平均介護度・利用者男女割合」

【意見及び質疑応答】

Q1. ささえりあ託麻センター長より

「サロン等に参加される男性が少ない現状であるが、男性の介護度の構成は怎么样了か?」

A1. 事業所の代表より

『要支援2』が4名、『要介護1』が5名、『要介護2』が4名、『要介護4』が2名になっています」

②最近の活動内容

- 月行事 ○年間行事 ○ボランティア受け入れ ○他機関との連携 ○東3圏域地域ネットワーク事業
- 東3圏域地域ネットワーク事業の活動内容として、事業所外で行われている地域活動にも引き続き積極的に参加している状況が説明され、東3圏域の通所介護事業所の概要・サービス内容一覧と地図が紹介された。

【意見及び質疑応答】

託麻東校区社会福祉協議会会長より

「るり苑と朋岳園が、託麻6校区社会福祉協議会主催の『託麻ふくし祭り』の参加を辞退(脱退)された。また、H31.4月から、社会福祉協議会東事業所が県庁通りから秋津公民館へ移転する」との報告があった。

1) 当法人(当事業所)の積極的な取り組みについて … 現在進行中

- 一般事業主行動計画 ○おもてなし規格認証 ○ヘルスター健康宣言 ○介護保険外利用実施

2) ヒヤリハット事例

今回から、報告項目に加えたが、H30.9月(前回運営推進会議)から現在までの期間での事例はないことが報告された。

【意見及び質疑応答】

Q2. 事業所の代表より

「現在、要支援者の紹介事例が減少している。また、紹介事業所に偏りがあるように感じられるが、ささえりあ託麻の事業所紹介についての考え方は？」

A2. ささえりあ託麻センター長

「利用者をできるだけデイサービスに繋げたいと考えて紹介している。また、行政システム上、4ヶ月に1度の報告義務があるため、公平性を欠く紹介については指導がある」と報告された。

③利用者とその家族からのご意見

利用者の代表者から、自らの利用をもとに、以下のような意見（利用における感想）が呈示された。

- ◎運営推進会議へ参加するみなさんに会えてうれしい。
- ◎毎回、「しん」に来てみんなの笑顔が見られることがうれしい。
- ◎代表を中心としてスタッフの呼吸が合っている。明るくて気持ちがいい。
- ◎自分自身も地域の文化祭などで『8020 運動』を推進していたし、たくさんのボランティア活動をしてきた。

3. その他

ささえりあ託麻センター長より、「認知症ボランティア研修が行われます」とのお知らせがあった。

4. 次回の開催日について

開催日時：平成 31 年 9 月 21 日（土） 10：00～11：00

開催場所：リハビリ・デイサービスセンター「しん」

以上